

用語の解説

歳入

- 自主財源
市が自主的に収入できるお金
- 依存財源
国や県から交付されるお金
- 繰入金
市の預金などから移動されるお金
- 地方交付税
市の財政力に応じて国から交付されるお金
- 市債
市の事業や国の施策により発行した借入金
- 国庫・県支出金
特定の目的のために国や県から交付されるお金

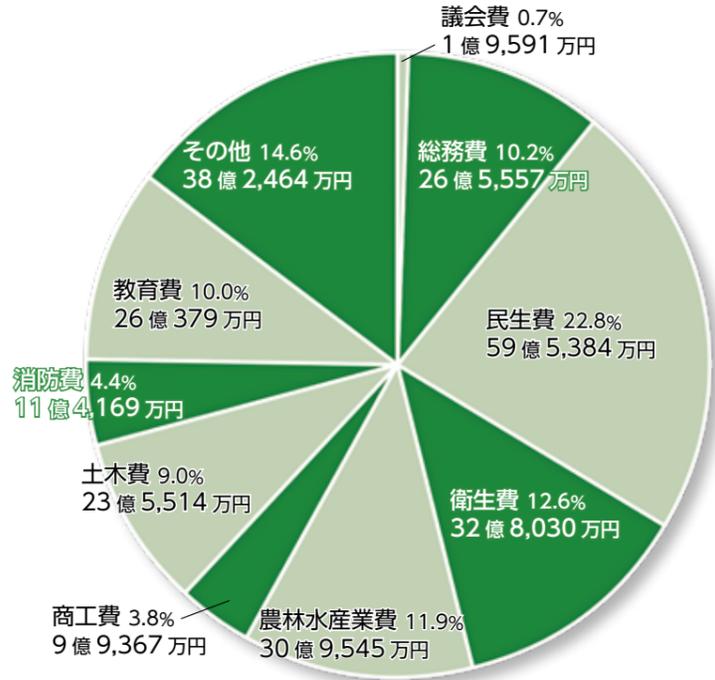
歳出

- 議会費
議会運営のための経費
- 総務費
行政全般の事務に使われる経費
- 民生費
福祉などに使われる経費
- 衛生費
保健や環境衛生に使われる経費
- 農林水産業費
農林業振興などに使われる経費
- 商工費
商工業や観光振興に使われる経費
- 土木費
道路やまちづくりなどに使われる経費
- 消防費
消防・防災などに使われる経費
- 教育費
学校・社会教育などに使われる経費
- 公債費
借金を返済していくために使われる経費

●特別会計予算

会計名	予算額	前年比増減率
国民健康保険	36億7,290万円	△7.7%
介護保険	49億3,990万円	8.3%
後期高齢者医療	4億2,670万円	△4.5%
滝根町観光事業	6億740万円	△13.4%
診療所事業	2億10万円	△9.8%
計	98億4,700万円	△0.6%

一般会計の歳出予算



行政サービス経費

1人あたり
73万3,249円
1世帯あたり
205万2,209円

市税負担

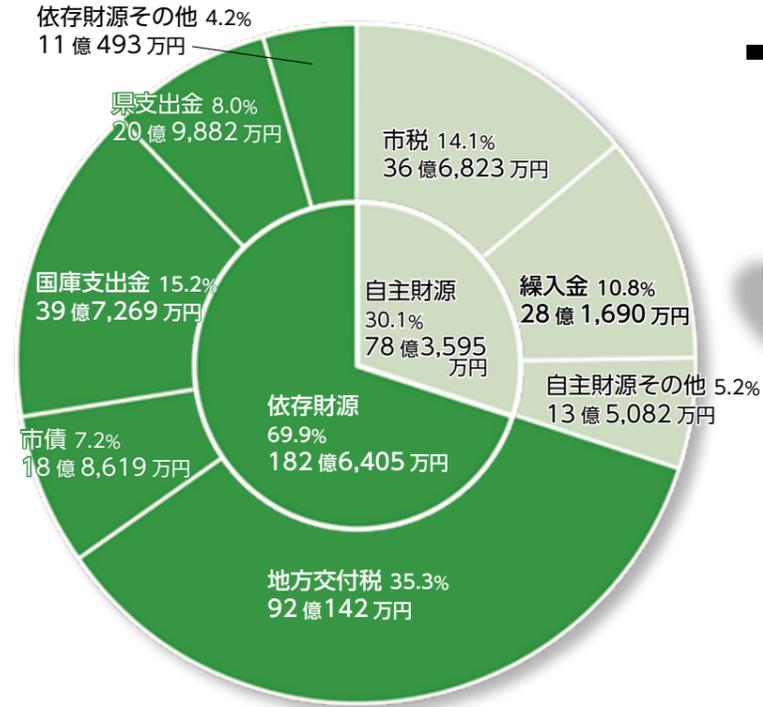
1人あたり
10万3,055円
1世帯あたり
28万8,428円



●企業会計予算

区分	当初予算額	前年比増減率
水道事業	収益的収支	6億5,800万円 △1.2%
	資本的収支	収入1億2,280万円 △45.5% 支出3億7,271万円 △23.2%
公共下水道事業	収益的収支	収入5億8,088万円 5.2% 支出6億193万円 1.5%
	資本的収支	収入3億1,227万円 △14.2% 支出4億8,922万円 △5.7%
病院事業	収益的収支	1億1,300万円 34.4%
	資本的収支	1億480万円 △46.0%

一般会計の歳入予算



田村市の当初予算

令和3年度の当初予算が成立しました。
今回は、予算の概要と新年度新たに取り組む事業などを紹介します。

☎ 総務部 財政課 ☎ 81-2118

令和3年度 一般会計予算額 261億円



令和3年度の予算編成

予算編成にあたっては、総合計画に掲げる「6つの基本方針と郷土の復興」を政策・施策の柱としながら、魅力ある地域づくりと少子化対策や活力にあふれた産業の形成、東日本大震災からの復興に、ポストコロナ時代の新たな日常を通じた質の高い経済を実現するための新しい生活様式の推奨を加えた4つの取り組みを重点事業に位置付け、分野横断的に施策と事業を関連付けるとともに、持続可能な開発目標であるSDGsの目標を盛り込みました。

一般会計当初予算

一般会計当初予算は、261億円と、前年度当初予算に比べ11億5千万円、4.2%の減となりました。これは、除染対策事業などの東日本大震災からの復興事業の減額が主な要因です。

新年度の重点事業

① 魅力ある田村市の創造と次世代の地域づくりを見据えた新たな取り組みや、事務事業の再編・整理などの民間委託の推進と諸課題の解決を目指します。

② 地域創生事業
田村市地域創生総合戦略を継続し、地域の総合力を高めることで人口減少に歯止めをかけ、地域経済に人材と資金を呼び込み、活力にあふれた産業を形成し、魅力ある地域を目指します。

③ 新生活創造事業
新しい生活様式の実現に向けた取り組みや、市民生活や地域経済を支援する取り組みなどで「新たな日常」を通じた質の高い経済社会の実現を目指します。

④ 復旧・復興事業
東日本大震災からの復興の新たなステージでの諸課題を解決するため、地域資源の活用や市の魅力を発信することで、元気で安全・安心なまちづくりを目指します。



令和3年度 当初予算の詳細は、市ホームページをご覧ください。財政課にお問い合わせください。

田村市 財政公表

検索

